地方創生・まちづくりに関する人材の全体像を把握するため、人材の需要側・供給側のニーズ及びマッチング手法及びその効果について、２本の主調査と５本の周辺調査を実施

【目的】
今後の地域スポーツコミッションの運営を担う
基盤人材の確保、育成について
具体的な制度案を提示する

【主調査】
人材の需要側・供給側のニーズ及びスキル等の現状を明らかにする

主調査①：地域スポーツ団体調査

調査目的：人材需要側のニーズ、採用、育成の現状等の把握
調査対象：地域SC、DMO、スポーツチーム

組織の全体像	必要な人材像（スキル、雇用形態等）を明らかにする
採用方法	どのような方法で人材募集・採用を行っているかを明らかにする
人材育成	人材育成の取組の実施の有無や内容を明らかにする

主調査②：地域スポーツ人材調査

調査目的：人材供給側の人物像、ニーズ、希望する人材育成制度等の把握
調査対象：地域スポーツ団体調査の対象団体に勤務する職員

職員の全体像	現場の人材像（スキル、雇用形態等）を明らかにする
採用方法	どのような経路で採用に至ったかを明らかにする
人材育成	どのような人材育成の取組を受けてきたかを明らかにする

【周辺調査】
地域スポーツ人材としてポテンシャルのある者のニーズ等について把握する

周辺調査①：アスリート調査
調査対象：プロアスリート、実業団所属選手
調査項目：保有スキル、地域スポーツへの就職希望、希望する業務等

周辺調査②：大学生調査
調査対象：スポーツ系大学、学部、学科に所属する大学生
調査項目：地域スポーツへの就職希望、雇用形態、希望する業務等

周辺調査③：地域おこし協力隊調査
調査対象：主調査①の対象団体に所属していないスポーツ関連業務に従事する協力隊
調査項目：主調査②と同様

周辺調査④：副業・兼業人材調査
調査対象：副業・兼業を過去に実施していた、現在している、今後希望している社会人
調査項目：保有スキル、地域スポーツへの就職希望、希望する業務等

周辺調査⑤：人材マッチング業者調査
調査対象：地域と人材のマッチングを主な業務としている民間企業
調査項目：地域で専門人材のマッチングの現状について